2022 年 9 月 21 日
ポスタス株式会社

クラウド型モバイル POS レジ「POS+（ポスタス）」
飲食店売上動向レポート 2022 年 9 月

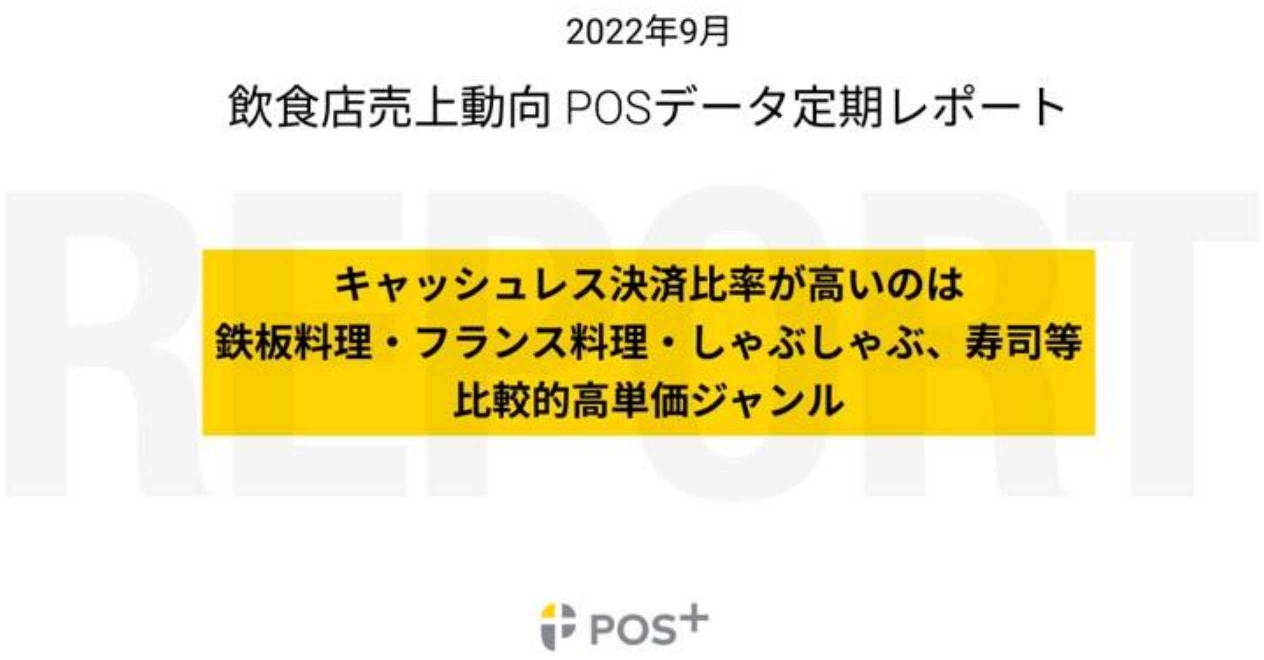
キャッシュレス決済比率が高いのは鉄板料理･フランス料理･しゃぶしゃぶ、寿司等の比較的高単価のジャンル

クラウド型モバイルPOSレジの「POS+（ポスタス）」を提供するポスタス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：本田 興一）は、2022年8月度の飲食店売上動向についてPOSデータを基に集計し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

POSデータの集計結果に関して、購読をご希望の方は以下よりお申し込みください。

https://www.postas.co.jp/news/2022/6127/

今後もPOS+（ポスタス）は、飲食店を取り巻く環境変化や実態に関する情報を積極的に発信し、支援策の検討と提案を行うことで、当サービスのビジョン“おもてなしのお手伝いで、はたらく、を笑顔でみたす。”の実現を目指してまいります。



【調査結果】

■ 8 月度売上は対前月アップ。コロナ前（2019年対比）でも130%の水準。

・8月度の前年対比の売り上げ伸長率は、前月から21.1ポイント良化し、前年対比で139.9%を示している。2021年8月の売り上げが2020年比84.1%、2020年8月の売り上げが2019年比94.6%（※グラフ表示外）なので、コロナ前（2019年）対比では130%の水準である。

■新型コロナ新規感染者数との関連

・７月からの「第７波」到来後も、7月18週を底に前年対比売上は右肩上がりの傾向を示している。

■決済手段について

・キャッシュレス決済比率は関東地方が45.5%と最も高く、そのうち8割がクレジットカード決済である。クレジットカード以外では、コード決済、ついで電子マネー決済が続く。

・業態別に見ると、専門料理・その他でのキャッシュレス決済比率が高い。
コード決済・電子マネーの使用比率は食事・軽食系・持ち帰り業態で高い。
・ジャンル別に見ると、鉄板料理・フランス料理・その他西洋料理・しゃぶしゃぶ、寿司等、比較的高単価の業態でのキャッシュレス決済比率が高い（そのほとんどはクレジットカード決済である）。
・キャッシュレス決済を100%として内訳を見ると、業態ごとの決済手段の違いが明確にわかる。
ハンバーガー・カレー・ラーメン・そば・うどん等の軽食/食事系は前頁の通り現金比率が高いものの、キャッシュレス決済の中ではコード決済比率が高い。

【目次】

- 集計1：全国飲食店　売上月次推移（前年対比）、新規感染者とエリア別売上週次推移（前年対比）
- 集計2：飲食店　エリア別・業態別決済方法

【集計1概要】

集計内容：飲食店　売上月次推移　前年対比、新規感染者数とエリア別売上週次推移（前年対比）

集計対象：「POS＋」のPOSレジを導入している飲食店

集計期間：<2021年売上>2021年4月1日～2021年12月31日

<2022年売上>2022年1月1日～2022年8月31日

集計手法：POSデータから該当期間の売上データを抽出して集計

データ提供数：7,784社

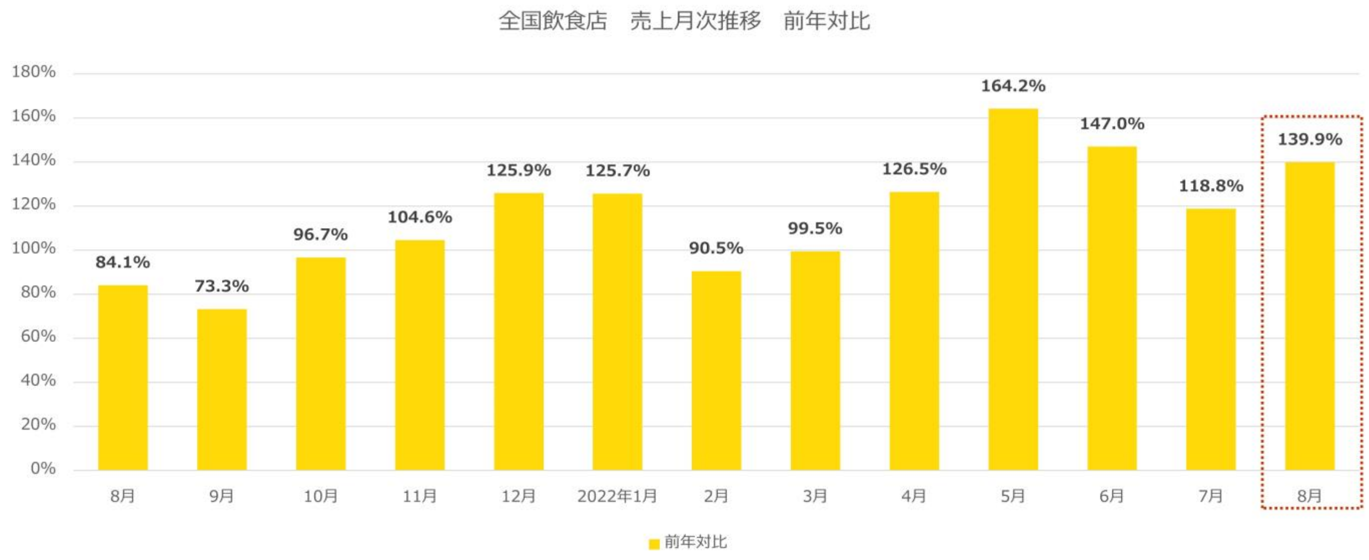
【集計1サマリ】

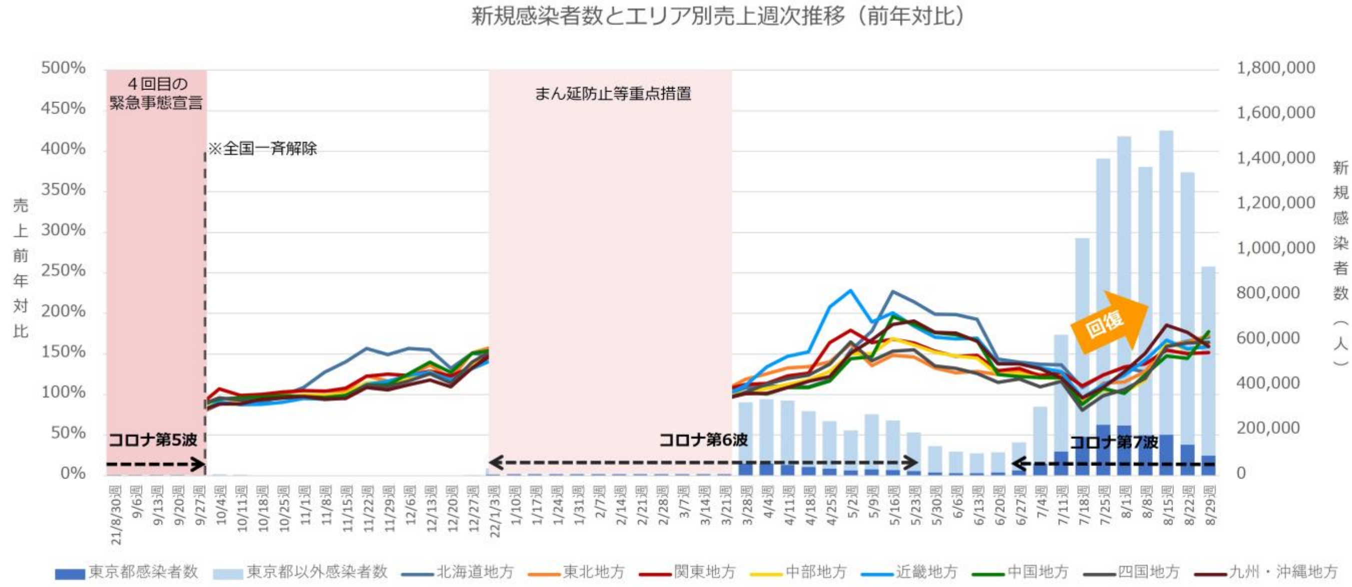
８月度の度の売り上げは前月から21.1ポイント良化し、コロナ前（2019年）対比でも139.9%の水準

- 8月度の前年対比の売り上げ伸長率は、前月から21.1ポイント良化し、前年対比で139.9%を示している。2021年8月の売り上げが2020年比84.1%、2020年8月の売り上げが2019年比94.6%（※グラフ表示外）なので、コロナ前（2019年）対比では130%の水準である。
- 7月からの「第7波」到来後も、7月18週を底に前年対比売上は右肩上がりの傾向を示している。

（※1）【2020年８月POSデータ定期レポート　「売上昨年同月対比　客単価別　表1」　参照

https://www.postas.co.jp/news/2020/1943/





【集計2概要】

集計内容：飲食店　エリア別・業態別決済方法

集計対象：POS+のPOSレジを導入している飲食店の中で、以下の5業種・25ジャンルに分類される店舗

・「食事系」：カレー、そば・うどん、ラーメン、食堂・定食、レストラン

・「軽食」：カフェ・喫茶、ハンバーガー

・「専門料理」：焼肉、韓国料理、寿司、お好み焼き、鉄板料理、ステーキ・ハンバーグ、フランス料理、中華料理、海鮮料理、アジア・エスニック、イタリア料理、日本食、しゃぶしゃぶ、その他西洋料理、沖縄料理

・「居酒屋」：和風居酒屋、洋風居酒屋

・「その他」＝カフェ・喫茶、その他西洋料理、バー

集計期間：<2021年売上>2021年4月1日～2021年12月31日

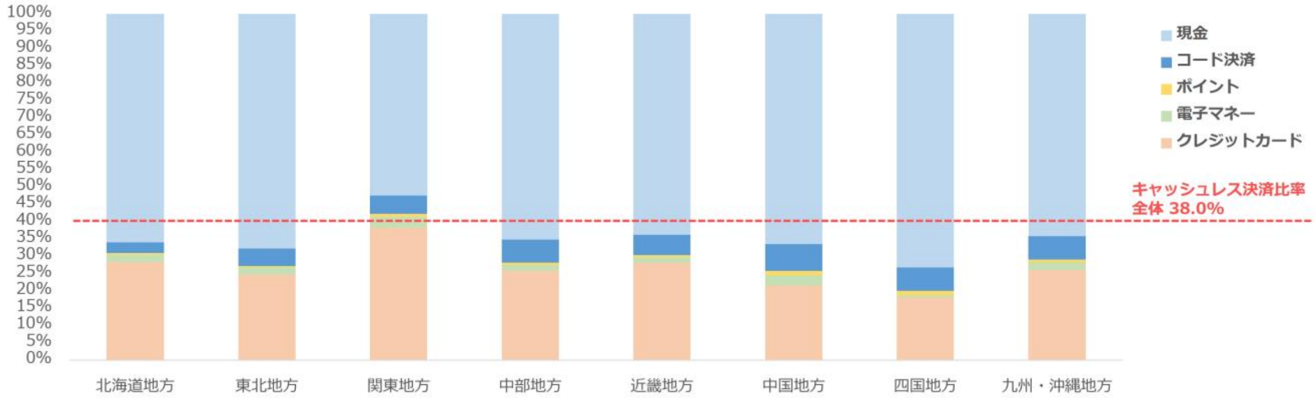
<2022年売上>2022年1月1日～2022年8月31日

集計手法：POSデータから該当期間の売上データを抽出して集計

データ提供数：7,784社

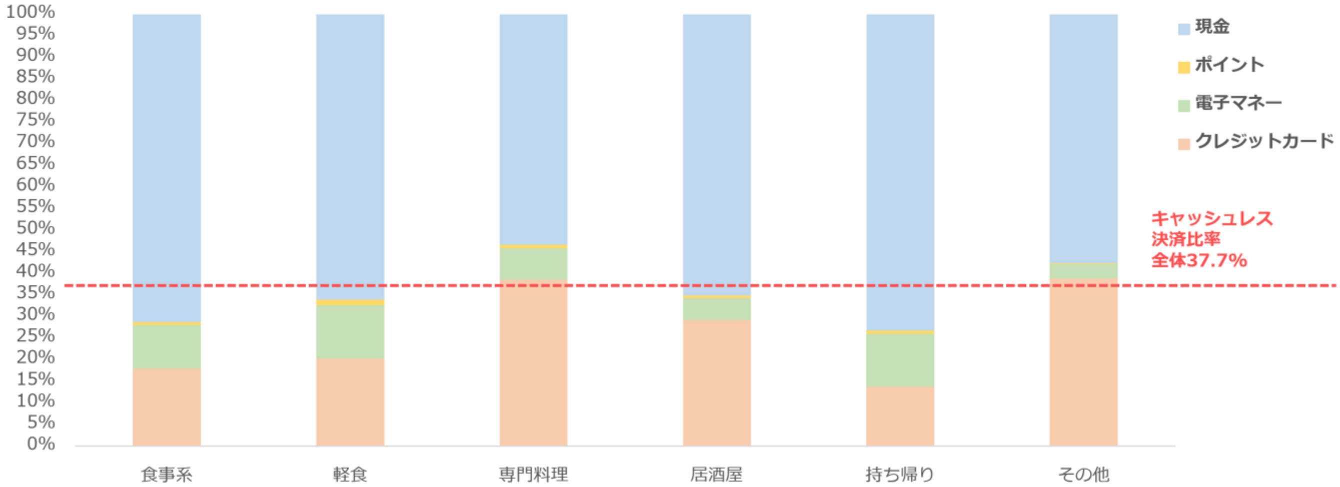
飲食店　業態別 決済手段比率

飲食店　エリア別 決済手段比率



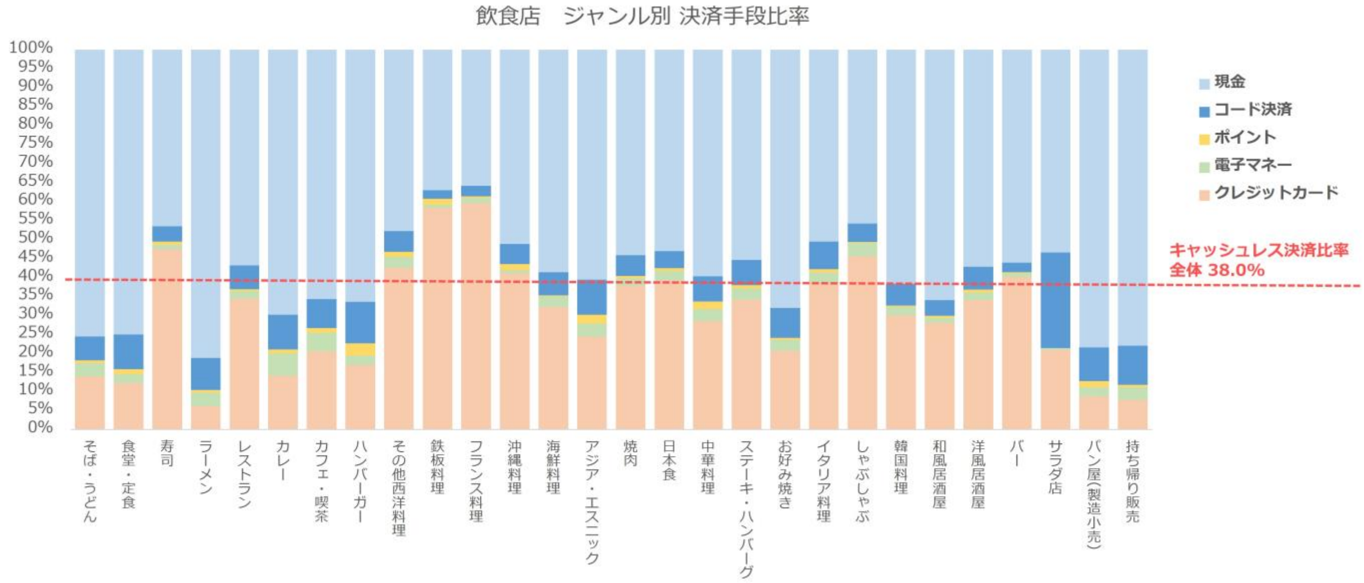
キャッシュレス比率							
北海道地方	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州・沖縄地方
31.7%	30.3%	45.5%	32.6%	34.9%	30.7%	25.4%	33.9%

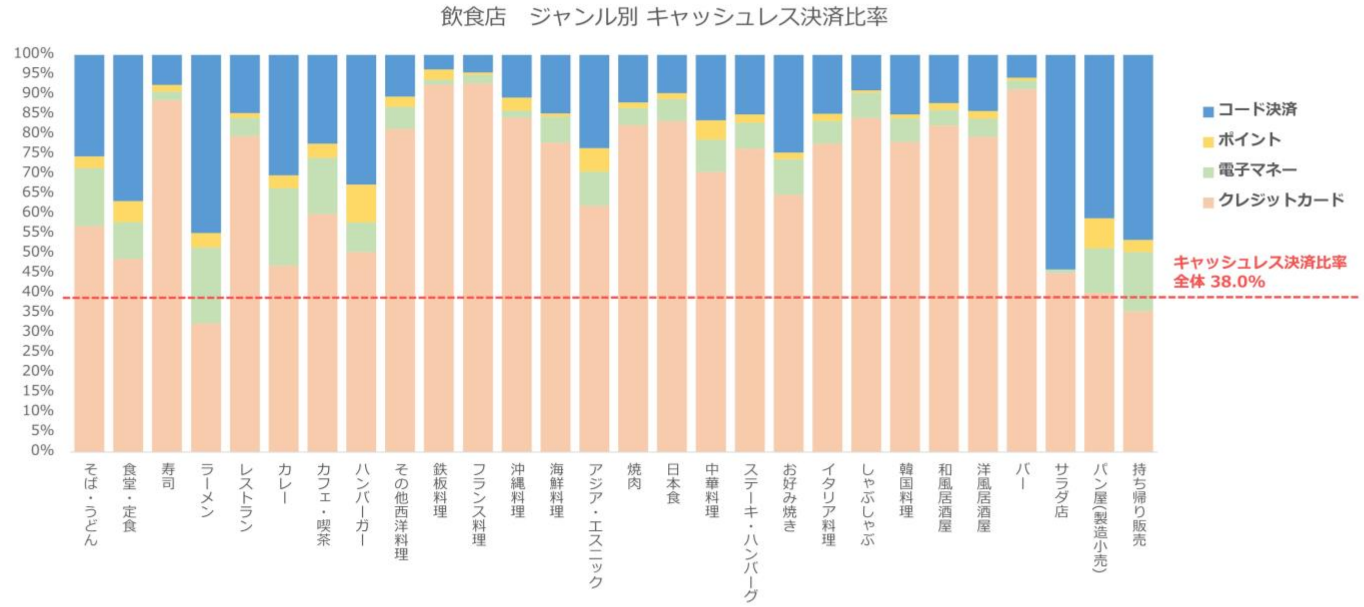
飲食店　業態別 決済手段比率



キャッシュレス比率					
食事系	軽食	専門料理	居酒屋	持ち帰り	その他
26.5%	32.6%	44.2%	33.9%	25.7%	41.2%

※「その他」＝カフェ・喫茶、その他西洋料理、バー、鉄板料理店





■ポスタス株式会社および「POS＋」について　＜ https://www.postas.co.jp/ ＞
ポスタス株式会社は、2013年5月のサービス提供から、有償POSレジで国内トップクラスのシェアを誇るまで成長したクラウド型モバイルPOSレジ「POS+（ポスタス）」の事業を、パーソルグループのパーソルプロセス&テクノロジー株式会社より承継する形で、2019年12月2日に設立いたしました。

「POS+」は、店舗の売上向上や店舗運営担当者の業務負担軽減による生産性向上を実現し、また従業員にとって利便性の高い機能を搭載する店舗向けソリューションです。飲食店向け「POS+ food」や小売業向け「POS+ retail」、理美容向け「POS+ beauty」のクラウド型モバイルPOSレジをはじめ、顧客の属性に合わせたマーケティング活動を可能にするデジタル会員証「POS+ connect」や、従業員の勤怠管理「POS+ time recorder」などきめ細やかな機能を搭載し、効率的な店舗運営を支援いたします。

■「PERSOL（パーソル）」について　＜ https://www.persol-group.co.jp/ ＞
パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開しています。グループの経営理念・サステナビリティ方針に沿って事業活動を推進することで、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも積極的に取り組み、市場価値を見いだす転職サービス「ミイダス」、テクノロジー人材のエンパワーメントと企業のDX組織構築支援を行う「TECH PLAY」、クラウド型モバイルPOSレジ「POS＋（ポスタス）」などのサービスも展開しています。

【本件に関するお問い合わせ先】
https://www.postas.co.jp/inquiry/